Creative Enzymes®

ネイティブボバインカテプシンC

Cat. No. NATE-0170

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	カテスペシンCは、置換されていないN末端を持つペプチド鎖からジペプチドを順次除去できるジペプチジルアミノペプチダーゼです。この酵素は、N末端のアミノ酸としてグリシンとプロリンを好む特性を示します。N末端にリジンまたはアルギニン残基、または前の位置にプロリン残基を持つ基質は、この酵素の標的にはなりません。エンドペプチダーゼ活性には、ハロゲン化物イオンとチオール活性化剤の存在が必要です。
用途	カテプシンCは、外絨毛栄養膜細胞によって発現される新しいタンパク質を特定するためのプロテオミクスアプローチの可能性を示す研究に使用され、妊娠における病態に至るメカニズムを明らかにするためにも使用されました。カテプシンCは、生分解性サーモゲルを評価する研究にも使用されています。Creative Enzymesからの酵素は、E. coliからのグランザイムK（Gzmk）前□体の活性化に使用されました。グランザイムは、T細胞およびナチュラルキラー細胞による細胞傷害防御反□に関与する顆粒貯□リンパ球セリンプロテアーゼです。
別名	CTSC; カテプシンC; 9032-68-2; EC 3.4.14.1; ジペプチジルアミノペプチダーゼI; ジペプチジルトランスフェラーゼ; ジペプチジルトランスフェラーゼ; ジペプチドアリルアミダーゼI; DAP I; ジペプチジルペプチダーゼI; DPP-I; CPPI; DPP1; DPPI; HMS; JP; JPD; PALS; PDON1; PLS

製品情報

種	ウシの
由来	牛の脾臓
形態	1 M 塩化ナトリウム溶液から凍結乾燥されました。
EC番号	EC 3.4.14.1
CAS登□番号	9032-68-2
活性	> 5 ユニット/mg タンパク質
組成	タンパク質、> 25% ビウレット
代謝□路	リソソーム、特定の生物に特有のバイオシステム；リソソーム、保存されたバイオシステム
機能	システイン型ペプチダーゼ活性
単位定義	1ユニットは、pH 6.8、37°CでGly-Phe-NH2とヒドロキシルアミンを使用して、DL-フェニルアラニンヒドロキサミン酸を基準として、1分あたり1μモルのGly-Phe-NHOHを生成します。カテプシンCは、その加水分解特性に加えて、ジペプチドアミドの重合を触媒します。